

インド伝統のハンドワークと日本のデザイン感性 悠久の時間のなかで培われた伝統の手仕事を ◇和モダン◇に活かす

東京かんかん

東京かんかん(世田谷区代田、小川弘社長、03・5486・3123)

は、アジア・アフリカのアート、アパレル、インテリア雑貨を取扱う店である。現代の暮らしのシーンに新しい手仕事のかたちを生み出すこと、ハイテクとアナログが共存する心地良い空間を創り出し、美しい調和を提案すること、それ

を同社の理念として、来年創業40年を迎える。

「手は最初の道具であった」。

大量生産される多種多様な工業機器が生活必需品のほぼすべてを占め、ITの最先端テクノロジーが私たちの暮らしを日々進化させている今だからこそ、人間の原点に立ち返って、人の手で作り上げてきたモノに光を当てたい。たとえばもはや日用品となったパソコンは温もりを感じさせる木工のデスクに置いてみる。

床には手織りのラグ、テーブルには木版染めの布を敷く。吹きガラスのハンギングベースからは緑の蔓草がデスクの上に優しい影を落とす。日常生活の中で、こういった視覚や手触りは五感を癒す大切な要素である。「人間が有機的な生き物である以上、土や木から生まれた素材を使った道具は心身のバランスを取るために不可欠」と考える同社では、私たちの日本的感性を今もお伝統をつないでいるインドの貴重な職人仕事とコラボさせながらモノ作りを行っている。

エキゾチックなアート・雑貨が並ぶ店内。きっとお気に入りの一品が見つかるはず



インド伝統のハンドワークが日本の感性と出会う

世田谷の同社本店では、仮面や神像といったアフリカンアートを中心に、椅子や木器、貨幣といった民具など幅広い商品を取扱っている。本店以外にも、麻布十番、横浜みなとみらいなど関東に直営15店舗を展開している。詳しくは、同社ホームページにて。